

日 時：平成 27 年 1 月 19 日（月）18 時 30 分 ～20 時

場 所：新館集落センター

対象町会：新館・向野

参加人数：14 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○墓地の造成について （市民からの要望・質問） 墓地の造成はどのようにしているか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 7 4 区画造成することとしている。・ 7 4 区画については平成 2 7 年度から使用開始となる。・ 使用料は、造成に要した費用を区画数で割ると 1 8 万円程度となるが、もう少し下げたいと考えている。・ 分譲については今後周知し、募集を開始します。
<p>○町居から広船に続く道路について （市民からの要望・質問） 事業の進捗はどうか。用地買収は終わったのか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 路線の測量は終わっているが、買収は少し遅れている。それでもあまり長い期間はかけずに、開通に向けて進めていく計画である。
<p>○運動施設について （市民からの要望・質問） 市民運動会もなくなった現在、どのような形で利用されていくのか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本来は今年度から着工の予定だが、設計の見直しもあり 1 年延びた。・ 2 7、2 8 年度で陸上競技場、多目的広場を整備する予定。・ 合併特例債が 3 2 年まで使えることとなったので、そのための計画を県に対して協議中である。計画の中には合併特例債を充当する様々な事業を盛り込んでいる。・ 運動会については、市民の一体感を醸成したいと考えており、現在休止となっている運動会は、運動施設ができれば復活させたいと考えている。

○旧市民グラウンドについて

(市民からの要望・質問)

旧市民グラウンドは企業に駐車場用地として譲渡すると聞いた。木を切ったりしているようだが、市がやっているのか。

おとし、付近の排水の件で市役所に相談したことがある。雨が降ると市民グラウンドの排水が集まって水があふれ、田の方に水が流れてきてしまうので何とかしてほしいということで相談した。その時は検討する。ということであったが、その後特に状況は変わっていない。この状態で企業にグラウンドを譲渡してしまって大丈夫なものか気になっている。駐車場となって舗装されてしまうと益々状況が悪くなるような気がする。

(市の回答)

- ・グラウンドは既に売却済みである。約1億4000万円である。売却に当たっては、樹木やナイター照明などは市が撤去することとし、その上で売却額を決定した。
- ・現在企業に貸している駐車場は春までは使っていただくことはできるが、市では雪が消えると同時に事業に着工するため、譲渡した旧グラウンドを駐車場としていただくこととなる。
- ・排水の件については場所を確認し、対応を考えます。

○雪置き場について

(市民からの要望・質問)

毎年雪が多く、運動施設の工事が始まると来年以降の雪置き場はどうなるのか。できるだけ近い所に確保してほしい。

(市の回答)

- ・今年度はドーム裏の雪置き場は設置しない予定であったが、雪が多すぎて設置することとした。
- ・代替地は検討しているが、案としては松崎の河川広場も候補である。昨年の水害で被害を受けた場所であり、所管する県としては、テニスコートとバスケットコートは修理する方針とのことだが、グラウンドの方はそのままにしておくようだ。そのあたりに雪置き場を設置することを考えている。

○融雪溝について

(市民からの要望・質問)

昨年融雪溝の取入口を整備していただき感謝している。

12月に県道を測量している方から、融雪溝を延ばす計画があると聞いた。この融雪溝はもともとは田に流す水を使っており、上流の側溝は狭い状態となっている。もしも延ばす場合、上流の側溝の幅を広くする必要がある。

(市の回答)

- ・その路線は県道であり以前から拡幅を希望する声があったが、建物の補償費などを要するためなかなか進まないでいた。
- ・通学路であり、少しでも幅を広げようということで県の事業で測量に入っているはずである。
- ・融雪溝の話は聞いていないが、融雪溝を設置する場合には、「水があること」、「出口があること」、「受益者が管理すること」が条件となってくる。詳しくは県に確認してみる。

○市役所職員の町会活動等への参加について

(市民からの要望・質問)

新館に住む市の職員もいると思うが、地域の団体活動に顔を出してほしい。市の職員ならばたくさん情報ももっているだろうし、市長から言ってもらえないものか。

(市の回答)

- ・職員には地元の活動に参加するように言っている。それによって地域の声を市役所に届けることもできる。
- ・もちろん参加している職員もいるが、昨年のような災害があれば厳しい部分もあるだろう。
- ・今後も自主的に参加するように促していきたい。地域に顔を出すことは大切なことだと思う。

○街灯の設置について

(市民からの要望・質問)

町居から体育館に曲がるところが夜にわかりにくいと感じる。わかりやすいように街灯を設置してほしい。

(市の回答)

- ・今年度LED化に向けた調査をしており、平成27年度で街灯をすべてLED化する予定である。
- ・新たに付けてほしい場所についての要望もあるので、確認しながら進めていきたい。
- ・ただ、設置するもの（柱など）がなければならぬので、現場を見てみたい。

○雇用促進住宅について

(市民からの要望・質問)

雇用促進住宅には、現在何世帯が入居しているか。だいぶ老朽化しており解体する目途はついていないか。

(市の回答)

- ・現在、4～5世帯が入居していると記憶している。東日本大震災の被災者の方などが入居している。
- ・あの建物は国のものであるが、現実的に入居している方がいるので、国でもまだ整理できないだろう。

○空き家対策について

(市民からの要望・質問)

平川市の空き家対策はどのようなになっているか。

(市の回答)

- ・空き家倒壊については最近新聞のニュースにもなった。
- ・空き家対策は日本全国で問題となっている。全国では820万件、5年後には1400万件まで増えるのではとされている。
- ・青森県でも13万件、平川市でも423件の空き家が確認されている。
- ・かたづけたくても個人の財産であるので、なかなか対応できない。
- ・3月議会に空き家条例を提案する予定である。多少は片づけやすくなるが、解体費用をいったん市のお金で建て替えることとなり、回収できなければ税金が使われることとなり、非常に難しい。

○運動施設の整備について

(市民からの要望・質問)

運動施設を作るのであれば、将来を見越したものを作ってほしい。いいものを作れば利用者が来て宿泊していく。陸上競技に特化してはどうか。また、東中学校のグラウンドもそれほど離れていないため、サブトラックとしても活用できるのではないか。

(市の回答)

- ・運動施設の整備は旧平賀町時代からの計画である。3～4年前から後期計画が動き出している。
- ・400メートルの陸上競技場と、多目的広場の野球やソフトボールができる広場の整備である。多目的広場はグランドゴルフであれば東北大会などができると思われる広さである。
- ・体育館はあすなろ国体の開催時期に建設しており、老朽化が進んでいるため、合併特例債が活用できるうちに建設したいと思っている。
- ・建設に際しては様々な意見があると思う。例えば合宿ができるような施設にしてはどうかという意見もある。その場合、食事の提供はどうするのかなど、利用頻度なども勘案しながら計画を進めていきたい。
- ・これからの高齢者社会が進むにあたり、健康寿命を延ばせるような場所にしていきたいと思っている。

- ・運動施設の整備にあたっては、平川市の規模に見合ったものとするが、いいものは作るうという考え方とした。四種公認のものとした。
- ・一種、二種の公認競技場となると客席の数などに一定の規模が必要になるので、競技をする選手が走りやすいものとしようとした。記録の残る最低限のものとした。
- ・陸上協会からも、県の大会は旧三市でやるとしても、南黒の大会ができるものという声があった。

○碓ヶ関地域の公共サインについて

(市民からの要望・質問)

7号線を走行していて気付いたが、碓ヶ関地域にある支所等への案内がわかりにくいと感じた。様々な制約もあると思うが中心部から離れた地域では格を感じているかもしれないので、対応を工夫してほしい。

(市の回答)

- ・この懇談会はまず碓ヶ関から実施した。実施してみたところ地域によって抱える課題が異なっている。
- ・合併したからといって一律に揃えるのではなく、できるだけそれぞれの地域の特性を生かした街づくりを進めていく必要があると感じた。
- ・碓ヶ関は高齢化率も進んでいる状況であるが、今の碓ヶ関地域に対しては、決してサービスが遅れているとは考えていない。それぞれの感じ方ではあるが、むしろサービスは比較的充実しているのではないかと考えている。

○短命県返上に向けた取り組みについて

(市民からの要望・質問)

青森県は短命県と言われているが、何とかできないか。以前、県の管理栄養士による健康寿命を延ばす講話を聞いたことがある。平川市でもそのような講座を開催するなどの取り組みをしてほしい。

(市の回答)

- ・12月議会で平川市の健康寿命を延ばすためのスローガンを出してはどうかという質問が出たこともあり、準備を進めている。
- ・平川市の男性の平均寿命は76.7歳、女性85.7歳であり、男性が県平均より低い状況である。
- ・原因を探ってみると、脳卒中、心疾患、ガンが県平均よりも多いようである。また、自殺者数も多く、これが平均寿命を下げている大きな要因である。
- ・健康で長生きする人の寿命を延ばしていく、健診率の向上や食生活の改善、食育なども合わせながら健康づくりに力を注いでいきたい。
- ・現在、平川市職員に管理栄養士はいないが、来年度採用する予定であるので安心してい

る。

- 講座開催についても、地域の要望に応じて開催していきたいと考えている。
- 平川市、藤崎町、板柳町、田舎館村と連携し、長野県を寿命日本一にした熊谷先生を呼んで5年間指導を受けることとしている。医療データなどを洗い出して分析を進めていく。